

あおもり県議会だより

令和元年 5月 第94回臨時会・6月 第298回定例会

5月第94回臨時会の概要



就任の挨拶をする森内之保留議長



就任の挨拶をする櫛引ユキ子副議長

正副議長を選出したほか、青森県県税条例の一部を改正する条例案などを可決

令和元年5月第94回臨時会は、5月13日に開会され、5月15日までの3日間にわたり開催されました。

初日の本会議では、まず、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に森内之保留議員、副議長に櫛引ユキ子議員が選出されました。次に、議会運営委員の選任が行われました。その後、「青森県県税条例の一部を改正する条例案」をはじめ、3件の議案及び4件の報告が上程され、三村知事から提案理由説明がありました。

5月14日には、本会議場における議席の指定が行われた後、各常任委員の選任が行われました。次に、新

幹線・鉄道問題対策特別委員会及び原子力・エネルギー対策特別委員会が設置され、各特別委員会の委員が選任されました。

最終日の5月15日には、まず、人事案件に係る議案の質疑が行われたのち、採決が行われ、同意されました。次に、人事案件を除く議案に関する質疑が行われ、青森県県税条例の一部を改正する条例案のふるさと納税制度等について、質疑・答弁がありました。

知事提出議案のうち、人事案件を除く議案2件及び報告4件は委員会付託及び討論は省略され、採決が行われ、知事提出議案2件及び報告4件が可決・承認されました。

目次

- 5月臨時会の概要 …… P01
- 県議会議員紹介 …… P02
- 議会トピックス …… P04
- 6月定例会の概要 …… P05
- 一般質問の内容 …… P06
- 可決された議案 他 …… P12

用語解説

臨時会

定例会のほかに、臨時の必要がある場合、特定の事件に限ってこれを審議するために随時招集される議会。
第94回臨時会は、青森県議会議員一般選挙が行われた後に、議長及び副議長の選挙等を行うために開かれた。

県議会本会議と特別委員会の模様はインターネットでライブ配信しています。過去の議会映像もご覧いただけます。
詳しくは「青森県議会インターネット中継」で検索してください。

まめちしき



青森県議会議員を紹介します。(会派別)

自由民主党

代表者 丸井 裕

 <p>越前 陽悦 選挙区:むつ市 当選回数:6回 所属常任委員会:総務企画危機管理委員会(委員長)</p>	 <p>阿部 広悦 選挙区:南郡 当選回数:7回 所属常任委員会:総務企画危機管理委員会</p>	 <p>田中 順造 選挙区:十和田市 当選回数:8回 所属常任委員会:文教公安委員会(委員長)</p>
 <p>工藤 兼光 選挙区:西郡 当選回数:5回 所属常任委員会:建設委員会(委員長)</p>	 <p>森内 之保留 選挙区:青森市 当選回数:6回 所属常任委員会:文教公安委員会</p>	 <p>清水 悦郎 選挙区:八戸市 当選回数:6回 所属常任委員会:文教公安委員会</p>
 <p>三橋 一三 選挙区:つがる市 当選回数:5回 所属常任委員会:建設委員会</p>	 <p>岡元 行人 選挙区:弘前市 当選回数:5回 所属常任委員会:農林水産委員会</p>	 <p>熊谷 雄一 選挙区:八戸市 当選回数:5回 所属常任委員会:総務企画危機管理委員会</p>
 <p>櫛引 ユキ子 選挙区:五所川原市 当選回数:4回 所属常任委員会:農林水産委員会</p>	 <p>山谷 清文 選挙区:青森市 当選回数:4回 所属常任委員会:建設委員会</p>	 <p>丸井 裕 選挙区:十和田市 当選回数:5回 所属常任委員会:商工労働観光エネルギー委員会</p>
 <p>高橋 修一 選挙区:青森市 当選回数:4回 所属常任委員会:環境厚生委員会</p>	 <p>工藤 慎康 選挙区:上北郡 当選回数:4回 所属常任委員会:商工労働観光エネルギー委員会</p>	 <p>夏堀 浩一 選挙区:三戸郡 当選回数:4回 所属常任委員会:建設委員会</p>
 <p>寺田 達也 選挙区:五所川原市 当選回数:3回 所属常任委員会:総務企画危機管理委員会(副委員長)</p>	 <p>工藤 義春 選挙区:平川市 当選回数:3回 所属常任委員会:建設委員会(副委員長)</p>	 <p>蛭沢 正勝 選挙区:上北郡 当選回数:3回 所属常任委員会:環境厚生委員会</p>
 <p>花田 栄介 選挙区:青森市 当選回数:3回 所属常任委員会:商工労働観光エネルギー委員会(委員長)</p>	 <p>齊藤 爾 選挙区:弘前市 当選回数:3回 所属常任委員会:文教公安委員会(副委員長)</p>	 <p>菊池 憲太郎 選挙区:むつ市 当選回数:3回 所属常任委員会:農林水産委員会(副委員長)</p>
 <p>山口 多喜二 選挙区:平川市 当選回数:2回 所属常任委員会:商工労働観光エネルギー委員会(副委員長)</p>	 <p>齊藤 直飛人 選挙区:北郡 当選回数:3回 所属常任委員会:農林水産委員会(委員長)</p>	 <p>鳴海 恵一郎 選挙区:黒石市 当選回数:3回 所属常任委員会:環境厚生委員会(委員長)</p>
 <p>和田 寛司 選挙区:三戸郡 当選回数:1回 所属常任委員会:文教公安委員会</p>	 <p>小比類 巻正規 選挙区:三沢市 当選回数:1回 所属常任委員会:総務企画危機管理委員会</p>	 <p>谷川 政人 選挙区:弘前市 当選回数:2回 所属常任委員会:環境厚生委員会(副委員長)</p>
 <p>山本 知也 選挙区:むつ市 当選回数:1回 所属常任委員会:商工労働観光エネルギー委員会</p>	 <p>大崎 光明 選挙区:八戸市 当選回数:1回 所属常任委員会:環境厚生委員会</p>	

民主連合

代表者 田名部 定男



た な か みつる
田中 満
選挙区：八戸市
当選回数：2回
所属常任委員会：
総務企画危機管理委員会



こ ん ひろし
今 博
選挙区：五所川原市
当選回数：3回
所属常任委員会：建設委員会



た な ぶ さだ お
田名部 定男
選挙区：八戸市
当選回数：7回
所属常任委員会：文教公安委員会



つ る が や たかし
鶴賀谷 貴
選挙区：弘前市
当選回数：1回
所属常任委員会：環境厚生委員会

公明・健政会

代表者 伊吹 信一



よ し だ きぬ え
吉田 絹恵
選挙区：上北郡
当選回数：3回
所属常任委員会：文教公安委員会



は た け や ま けい い ち
畠山 敬一
選挙区：八戸市
当選回数：4回
所属常任委員会：建設委員会




い ぶ き しん い ち
伊吹 信一
選挙区：青森市
当選回数：5回
所属常任委員会：環境厚生委員会

日本共産党

代表者 安藤 晴美



よ し ま た よう
吉俣 洋
選挙区：青森市
当選回数：1回
所属常任委員会：
総務企画危機管理委員会



ま つ た まさる
松田 勝
選挙区：八戸市
当選回数：2回
所属常任委員会：農林水産委員会




あ ん とう はる み
安藤 晴美
選挙区：弘前市
当選回数：4回
所属常任委員会：建設委員会

青和会

代表者 川村 悟



せ き りょう
関 良
選挙区：青森市
当選回数：3回
所属常任委員会：農林水産委員会



い ち の へ ぶ み お
一戸 富美雄
選挙区：青森市
当選回数：3回
所属常任委員会：商工労働観光
エネルギー委員会




か わ む ら さとる
川村 悟
選挙区：弘前市
当選回数：4回
所属常任委員会：環境厚生委員会

県民主役の県政の会

代表者 鹿内 博



し ぶ た に てつ か ず
渋谷 哲一
選挙区：青森市
当選回数：4回
所属常任委員会：文教公安委員会




しか ない ひろし
鹿内 博
選挙区：青森市
当選回数：6回
所属常任委員会：商工労働観光
エネルギー委員会

無所属



ふ く し なお はる
福士 直治
選挙区：東郡
当選回数：1回
所属常任委員会：
総務企画危機管理委員会



き みょう かず ひ と
木明 和人
選挙区：上北郡
当選回数：1回
所属常任委員会：商工労働観光
エネルギー委員会



や ま だ さとる
山田 知
選挙区：八戸市
当選回数：5回
所属常任委員会：農林水産委員会

● 新幹線・鉄道問題対策特別委員会

委員長 阿部 広悦 委員 **副委員長** 山谷 清文 委員

委員 熊谷 雄一 伊吹 信一 山田 知 丸井 裕
夏堀 浩一 渋谷 哲一 今 博 工藤 義春
寺田 達也 花田 栄介 関 良 齊藤直飛人
山口多喜二 谷川 政人 松田 勝 和田 寛司
大崎 光明 鶴賀谷 貴 吉俣 洋 福士 直治

● 原子力・エネルギー対策特別委員会

委員長 清水 悦郎 委員 **副委員長** 蛭沢 正勝 委員

委員 田中 順造 田名部定男 鹿内 博 越前 陽悦
工藤 兼光 岡元 行人 三橋 一三 工藤 慎康
高橋 修一 川村 悟 安藤 晴美 畠山 敬一
一戸富美雄 菊池憲太郎 齊藤 爾 吉田 絹恵
鳴海恵一郎 田中 満 小比類巻正規 山本 知也
木明 和人

● 広報図書委員会

委員長 夏堀 浩一 委員 **副委員長** 齊藤 爾 委員

委員 渋谷 哲一 一戸富美雄 菊池憲太郎 吉田 絹恵
山口多喜二 大崎 光明 鶴賀谷 貴 吉俣 洋

新幹線・鉄道問題対策特別委員会、原子力・エネルギー対策特別委員会及び広報図書委員会が組織会を開催しました。(令和元年5月14日)

組織会では、正副委員長の互選が行われ、次のとおり正副委員長が選出されました。

■ 第94回臨時会で可決された知事提出議案(3件)

◆ 条例関係(2件)

- 青森県県税条例の一部を改正する条例案
- 青森県控除対象特定非営利活動法人に係る寄附金を定めるための手続等に関する条例の一部を改正する条例案

◆ 人事関係(1件)

- 青森県監査委員の選任の件

選挙長等の報酬及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例案などを可決

令和元年6月第298回定例会は、6月13日に開会され、6月28日までの16日間にわたり開催されました。

初日の本会議では、「選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案」をはじめ、23件の議案及び16件の報告が上程され、三村知事から県政運営に関する所信と提案理由説明がありました。

6月19日から3日間にわたりに行われた一般質問では、12名の議員が登壇し、「選ばれた青森」に挑戦していく知事の決意などについて質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。また、6月20日には、青森県副知事の選任に係る議案が追加上程されました。

6月25日には、議案に関する質疑が行われ、選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案の改正内容等について、質疑・答弁がありました。

知事提出議案のうち、人事案件を除く議案22件は各常任委員会に付託され、常任委員会は6月26日に開かれ、それぞれ審議されました。

最終日の6月28日は、各常任委員会の審査内容の報告、討論が行われたのち採決が行われ、知事提出議案24件及び議員提出議案1件が可決・同意され、臨時の[?]協議又は調整を行うための場として、議会改革検討委員会の設置が決定されました。



協議又は調整を行うための場

まめちしき

地方自治法に基づき、青森県議会会議規則(以下「会議規則」という。)で定める、議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場のこと。会議規則に定める各会派代表者会議や議員全員協議会などのほか、議会改革検討委員会のように臨時的に設けるものがある。臨時的に設ける必要があるときは、原則として議会の議決が必要となる。





岡元 行人 議員
会 派：自由民主党
選挙区：弘前市

問

介護分野の労働力確保対策

県は、介護分野における労働力確保対策にどのように取り組んでいくのか伺う。

答

健康福祉部長

県では「青森県福祉・介護人材確保定着ブランドデザイン」を策定し、「参入促進」、「労働環境・処遇の改善による定着促進」、「資質の向上」の推進戦略に基づき、様々な取組を行っている。

具体的には、介護未経験者等に対する入門的研修の実施、介護職員が専門的業務に専念できるような家事的業務を担う「介護助手」の育成、職域階層に応じた各種研修の実施等である。

問

海面でのサーモン養殖

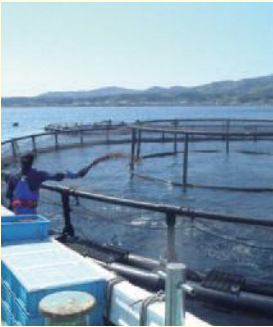
本県における海面でのサーモン養殖の取組状況と県の対応について伺う。

答

農林水産部長

海面でのサーモン養殖は、むつ市大畑町地先での漁業生産組合による生産販売のほか、深浦町などで、事業化に向けた養殖試験を進めてきており、深浦町地先では、本年4月から水揚げが始まっているほか、今別町と外ヶ浜町地先では、秋以降、本格的な養殖が行われる予定となっている。

県では、販売を促進するほか、より海水適応能力が高く、成長が早いサーモンの開発などを進めていく。



海面でのサーモン養殖の様子

問

原子力政策に対する基本姿勢

知事の原子力政策に対する基本姿勢について伺う。

答

三村知事

本県は、原子力発電・核燃料サイクルの推進が我が国を支える重要な政策であり、確固たる国家戦略であるとの認識の下、安全確保を第一義に、原子力施設の立地に協力してきた。

私は、「安全なくして原子力なし」との一貫した姿勢で、機会あるごとに国に対し、責任ある対応を求めてきた。事業者は、原子力規制委員会の安全性確認を前提として、安全性のさらなる向上に自らが一層の責任と使命感をもって取り組むことが重要。私としては、安全の確保を第一義に、国・事業者の対応を厳しく見極め、適切に対応していく。



田名部 定男 議員
会 派：民主連合
選挙区：八戸市

問

就職氷河期世代の就労支援

国は、就職氷河期世代の安定的な就労を支援していくとしているが、県の取組を伺う。

答

商工労働部長

県は、これまで、ジョブカフェあおもりにおいて、就職氷河期世代を含む若年者の就労支援に取り組んでいる。引き続き、キャリアアカウンセラーによる相談体制の充実を図るほか、国が設置している地域若者サポートステーションと連携した臨床心理士の派遣や共催イベントを開催するとともに、国、市町村、経済団体等と連携して就職氷河期世代の就職支援を強化していく。



セミナー「その仕事に就くには？」の様子



いぶき しんいち
伊吹 信一 議員
会派：公明・健政会
選挙区：青森市

問

SDGsの推進

「青森県基本計画」選ばれる青森への挑戦ではSDGsの理念を踏まえて施策を展開することとしているが、今後どのようにSDGsを推進していくのか。

答

三村知事

セミナーや若者向けのワークショップを開催して普及啓発に取り組むほか、各部署局長等をメンバーとする政策調整会議等の場を活用して庁内の情報共有を図るなど、「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念を踏まえ、県民の理解促進を図りながらSDGsを推進していく。



SDGs(エスディーゼーズ)

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された、先進国を含む国際社会全体の2030年までの開発目標のこと。「誰一人取り残さない(no one left behind)」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むための17のゴール(目標)とその下位目標である169のターゲットから構成される。

問

障害者の意思疎通手段

手話言語の普及及び意思疎通手段の確保を図るための条例制定に係る県の考えを伺う。

答

三村知事

県では、青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦において「障害者が自立し、安心して暮らせる共生社会づくり」を施策の一つに掲げ、各種施策の推進に取り組んでおり、今年度、言語としての手話の普及と障害のある全ての方々の意思疎通手段の確保を図るための条例制定等について、障害者団体等の方々が必要な議論を重ね検討していく。



くどう よしはる
工藤 義春 議員
会派：自由民主党
選挙区：平川市

問

児童虐待への対応

児童相談所における児童虐待への対応状況と関係機関との連携状況について伺う。

答

健康福祉部長

児童相談所では、児童虐待の通告を受けた後、原則として48時間以内に子どもの安全確認を行い、必要に応じて警察の協力を得て、立入調査を行うこととしている。

また、医療機関、警察及び学校の関係者等で構成する市町村の要保護児童対策地域協議会において必要な助言・指導を行っているほか、本年2月には、児童相談所と警察との間で、児童虐待事案の情報共有に関する協定書を締結した。



高齢運転者の運転免許自主返納

高齢による身体機能の衰えなどから、運転免許証を返納したい方が自主的に返納する手続きのこと。県警察では、日常生活支援(タクシー運賃割引等)を提供する支援協賛店を通じて高齢者を支援するなどの「運転免許自主返納者支援事業」を実施し、自主的に返納しやすい環境づくりをすすめている。

問

高齢運転者の運転免許自主返納

家族等からの運転免許の自主返納の説得に応じない高齢運転者に対する県警察の対応について伺う。

答

警察本部長

自主返納したいという意思表示が必須のため、家族等から、健康状態や運転状況等を確認し、家族等の承諾、協力の下、警察職員が、高齢者に直接面接し自主返納について説明している。その際、交通機関利用時の特典などを紹介している。

また、医師の診断等により認知症等と判明すれば、所要の手続きを経て免許取消しなどの行政処分を行っている。



たにかわ まさと
谷川 政人 議員
会 派：自由民主党
選挙区：弘前市

問

第4次産業革命への対応

第4次産業革命に対応した中小企業の生産性向上に向けて、県はどのような取組を進めていくのか伺う。

答

三村知事

第4次産業革命の進展で、AI・IoT等の革新技術を活用した設備投資により、これまで以上の生産性向上が期待されている。

このような新しい波に県内中小企業がしっかりと対応していく必要があることから、フォーラム開催による機運醸成、高度な知識やノウハウを持つ専門家の派遣等を行いながら、国の制度活用による設備投資を後押しし、生産性向上を促進する。

問

外国人材の1元的相談窓口

本県における外国人材の受入れが進むことが予想される中で、県として1元的相談窓口を設置する考えはないのか伺う。

答

企画政策部長

県では、現在、1元的相談窓口が取り次ぐこととなる市町村や国等の関係機関の窓口把握、とりまとめを行っている。

国から示されている1元的相談窓口には、これらの状況を踏まえながら、早期の設置に向けて今後鋭意調整を進めていく。

用語解説



第4次産業革命

18世紀末以降の水力や蒸気機関による工場の機械化による第1次産業革命、20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた大量生産による第2次産業革命、1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いた一層のオートメーション化による第3次産業革命に続く、IoT・ビッグデータ・AIなどによる技術革新を言う。



よしまた よう
吉俣 洋 議員
会 派：日本共産党
選挙区：青森市

問

医療的ケア児の受け入れ

保育所等における医療的ケア児の受け入れのための県の取組について伺う。

答

健康福祉部長

保育所等に対する県の調査では、医療的ケア児の受け入れが困難な理由として、看護師や保育士不足のほか、看護師が喀痰吸引や経管栄養等の医療行為から離れており、不安を感じるなどの意見が多かったため、保育所等の看護師に対する研修を実施しているほか、看護師配置などの受入体制の整備を図るモデル事業を実施予定であり、これらにより受け入れ可能な保育所等の増加を図る。

問

学校給食無償化

県内市町村における公立小・中学校の学校給食無償化を進めるべきと考えるが、県教育委員会の考えを伺う。

答

教育長

学校給食は、学校の設置者である市町村により実施され、その経費は市町村及び保護者が負担することと定められているが、保護者の経済的現状を勘案し、学校給食費の軽減措置をとっている市町村もある。

県教育委員会では、生活困窮世帯に対して国及び市町村が学校給食費を補助する就学援助制度の活用について周知を図るなど、適切に対応していく。

用語解説



医療的ケア児

医学の進歩を背景として、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引等の医療的ケアが日常的に必要な子どものこと。全国では18,000人を超えており、医療的ケア児やその家族への支援は、医療、福祉、保健、子育て支援、教育等の多職種連携が必要不可欠である。



かわむら さとる
川村 悟 議員
会派：青和会
選挙区：弘前市

問

りんご黒星病の新規防除薬剤

りんご黒星病の新規防除薬剤の早期登録に向けた取組について伺う。

答

三村知事

私は、農薬メーカーへ出向き、開発中の薬剤の早期の登録申請をお願いしたほか、小里農林水産副大臣に、迅速な審査を強く要請した。

これらの働きかけにより、農薬メーカーは、予定を前倒しして登録申請し、これを受理した農林水産省は、優先審査の対象にすることを決定し、関係府省と連携して手続きを進めていくとしている。

引き続き、国の審査状況を確認しながら、1日も早い登録を働きかけていく。

問

新規学卒者の県内就職促進

新規学卒者の県外流出の要因と県内就職促進に向けた取組について伺う。

答

商工労働部長

新規学卒者が県外就職を希望した理由は、「自宅から離れて生活したい」「都会に魅力を感じる」といった生活環境面と、「賃金が高い」「福利厚生が充実」「業務内容が合っている」といった仕事内容や待遇面が挙げられる。県は、県内企業の業務内容や魅力、暮らしやすい生活環境の発信に加え、企業が高校や大学に出向いてPRする機会の設定や、採用予定情報の公開などに取り組んでいる。



県立高校での企業PR説明会の様子



こひるい まさのり
小比類巻 正規 議員
会派：自由民主党
選挙区：三沢市

問

三沢空港へのアクセス強化

誘客促進のための受入環境整備の一つとして三沢空港へのアクセス機能を強化する道路整備が必要と考えるが、県の取組について伺う。

答

県土整備部長

上北自動車道から三沢空港へのアクセス強化のため、三沢駅を跨ぐ、三沢都市計画道路中央町金矢線の約1.6キロメートルを平成29年3月に供用開始した。

更にインターチェンジ側の約1.4キロメートルの間も幅員狭小、急勾配等のため改良工事を行う予定であり、現在は0.5キロメートルの区間で道路拡幅と歩道設置工事を進めている。

問

若手農業者の確保・育成

次代を担う経営感覚に優れた若手農業者の確保・育成に向けた県の取組について伺う。

答

農林水産部長

若手農業者が経営を早期に軌道に乗せられるよう、発展段階に応じたきめ細かな支援を実施している。

具体的には、経営発展に意欲的な農業者を対象に若手農業トッププランナー塾を開講し、経営戦略の作成や全国商談会への参加、異業種とのネットワークづくり等に取り組み、これまで230名が修了。塾生は法人化や輸出などに果敢に挑戦するなど、次代の担い手として着実に成長している。



若手農業トッププランナー塾開講の様子



和田 寛司 議員
会 派：自由民主党
選挙区：三戸郡

問

安心した子育て環境づくり

安心して子育てのできる環境づくりに向けた県の取組について伺う。

答

青山副知事

県では、市町村が妊娠・出産・育児に関する様々な相談に対応できるよう支援しているほか、利用者の多様なニーズに応じた満足度の高い保育を推進している。

また、就学前児童の医療費や、第3子以降の3歳未満児に係る保育料の負担を軽減する事業を実施しているほか、従業員の仕事と子育ての両立などを応援する「あおもり働き方改革推進企業」の認証企業数は、今年6月に10社を達成した。

問

ジュノハートのトップブランド化

「ジュノハート」をトップブランドとして育成するため、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

答

三村知事

厳選された「ジュノハート」の上位等級品を「青森ハートビート」の名称で差別化するとともに、高級感のある専用化粧箱で、県民の皆様と鮮烈な印象を与え、知名度と認知度の向上を図る。

また、メディアを活用した情報発信や有名ジュエリー等とのコラボ商品の開発などを進め、着実にブランド価値を高めながら、来年の全国デビューにつなげていく。



ジュノハートの上位等級品「青森ハートビート」



渋谷 哲一 議員
会 派：県民主役の県政の会
選挙区：青森市

問

県立高等学校教育改革推進計画

第2期実施計画の策定に当たって、知事はどのように関与していくのか。

答

三村知事

県立高等学校教育改革は、未来を担う子どもたちの教育環境づくりであるとの思いから、第1期実施計画の策定に当たっては、総合教育会議の場で、基本的な方向性を県教育委員会と確認してきた。

県教育委員会において、第2期実施計画を策定する際にも、引き続き総合教育会議の場で、県立高等学校教育改革の方向性について共通理解を図っていく。

問

障害者雇用率の改善

障害者雇用率の改善に向けて、県教育委員会では今後どのように取り組んでいくのか。

答

教育長

教員採用候補者選考試験において、これまで身体障害者を対象とした特別選考を実施してきたが、今年度から精神障害者及び知的障害者も対象とする。また、非常勤事務員等採用試験でも新たに障害者枠を設け、今年度、県教育委員会事務局にも障害者を採用した。

これまでの取組を引き続き実施するとともに、他県の取組等を参考にしながら、検討を行うなど、障害者雇用率の改善に努めていく。

用語解説



県立高等学校教育改革推進計画

将来、高校教育を受ける子どもたちの教育環境の整備に向け、平成30年度以降のおおむね10年間を見据えた高校教育改革の基本的な考え方を示す「基本方針」と、基本方針に基づく学科改編や地区ごとの具体的な学校規模・配置等を示す「実施計画」により構成するもの。第2期実施計画の期間は、令和5年度から5年間。



やま だ さとる
山田 知 議員
会 派：無所属
選挙区：八戸市

問

介護人材の確保・定着・育成

介護サービスの質の向上と持続可能な提供体制づくりのため、介護人材の確保や定着、育成に向けた県の取組を伺う。

答

健康福祉部長

介護サービス事業所認証評価制度を運用し、事業者に対し職員の処遇改善や人材育成の取組を促し、学生や求職者に対し働きやすい魅力ある職場として認証事業所を紹介している。
また、初任者、中堅職員、チームリーダー等の階層に応じた、知識や技術を習得し適切なキャリアパスやスキルアップを図るための研修等を行っている。

用語解説



**介護サービス事業所
認証評価制度**

職員の処遇改善・人材育成及びサービスの質の向上に関する取組等について、県が定める認証評価基準を全て満たしている事業者として認証し、公表するもの。これにより、事業者自らが処遇改善等に取り組み、職員が働きやすい環境が整備される等の効果が期待される。

問

県立高等学校の暑さ対策

県立高等学校における暑さ対策にどのように取り組んでいるのか。

答

教育長

県立高等学校における暑さ対策としては、各校の立地環境や各教室の状況等に応じて扇風機や網戸を設置するとともに、全ての学校の保健室に冷房設備を設置してきた。このうち、本年6月現在の普通教室における扇風機の設置率は69.1%で、教室の配置による風通しの状況等に依じて、適宜、活用している。
また、網戸の設置率は12.9%で、校舎の改修の際に、立地環境等を考慮して設置している。



やま や きよ ふみ
山谷 清文 議員
会 派：自由民主党
選挙区：青森市

問

障害者の雇用促進

障害者雇用を促進するためには、働きたいと考えている障害者に寄り添った支援が重要と考えるが、県の見解を伺う。

答

三村知事

県は、障害者雇用に向けた前向きな事業主を対象とした優良事業所の見学会の開催や、働きたいと考えている障害者の方々が就職に対する不安を解消できるよう、実際の仕事に即した短期の職場実習や職業訓練を実施し、雇用に結びつけている。
引き続き、障害者就業・生活支援センター等、関係機関と一丸となって、きめ細かな就労支援に取り組んでいく。

用語解説



**青森県ひきこもり
地域支援センター**

ひきこもりに悩んでいる御本人や御家族の相談に応じるため、平成28年6月に県立精神保健福祉センター内に開設。来所相談のほか電話相談にも応じている。(無料)

【電話】017-787-3953
【受付時間】9:00~16:00

問

ひきこもり支援

ひきこもり支援の促進のため、県ではどのように取り組んでいくのか伺う。

答

健康福祉部長

青森県ひきこもり地域支援センターでは、電話や来所による相談対応や家庭訪問のほかに、ひきこもりの状態にある人の家族が情報共有し、対応方法を学ぶ集いや、当事者の居場所づくりを行っている。
更に、関係機関が、ひきこもりに関する支援について協議する場を設置し、相互の連携強化を図っている。今後、関係機関と連携し、当事者や家族等の支援に取り組んでいく。

議会改革検討委員会が組織会を開催しました。 (令和元年6月28日)

組織会に先立ち、森内議長から、議会改革検討委員会委員の委嘱が行われ、議会の効率的・効果的運営のための改革に関する事項について検討を進め、報告するよう依頼がありました。

引き続き開催された組織会では、正副委員長
の互選が行われ、委員長に三橋一三委員が、副
委員長に蛭沢正勝委員が選出されました。



森内議長による委員委嘱



組織会における正副委員長の互選

議会
トピックス



県議会が敷地内全面禁煙になりました。

県議会棟における受動喫煙防止対策について、森内議長が各会派代表者会議に諮り、各会派の意見集約が図られたことから、令和元年7月1日から県議会として敷地内全面禁煙とすることになりました。県民の皆様にも御理解と御協力をお願いいたします。



第298回定例会で可決された知事提出議案(24件)

◆条例関係(17件)

- 選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 青森県県税条例等の一部を改正する条例案
- 青森県毒物及び劇物取締法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案など15件

◆人事関係(2件)

- 青森県採用委員会の委員及び予備委員の任命の件
- 青森県副知事の選任の件

◆その他(5件)

- 地方独立行政法人青森県産業技術センターの定款の一部変更の件など5件

第298回定例会で可決された議員提出議案の内容

意見書

○航空自衛隊三沢基地所属の航空機による事故の再発防止を求める意見書

(意見書の内容) 今回の事故は、県民に重大な不安を与え、民生の安定を損なうものであり、極めて遺憾である。県民の生命・財産の安全確保を守る立場から、航空自衛隊三沢基地及び国に対し、航空自衛隊三沢基地所属の航空機による事故の再発防止を強く要請。



県議会からの
お知らせ

○令和元年9月第299回定例会について

第299回定例会は、令和元年9月18日(水)に開会し、10月7日(月)に閉会する予定です。詳細な日程については青森県議会ホームページでお知らせします。

○あおもり県議会だよりに関するご意見・お問合せについて

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課 電話 017(734)9797(直通)